

第68期中間報告書

平成25年11月1日から平成26年4月30日まで



ナニフ株式会社

株主の皆様には平素より格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

当中間期における経済環境は、国内においては政府による財政戦略と消費税増税前の駆け込み需要の効果が、海外でも新興国で成長率の低下は見られるものの米国では景気が好転するなど、総じて堅調に推移いたしました。

当社におきましても、金属用塗料や住宅建材用塗料などではこうした恩恵を受けましたが、一方で昨年度好調であったスマートフォン向け塗料の売上が低迷し、全体では前年と比べ売上は微増、利益はマイナスという結果に終わりました。

尚、当中間期の配当は前中間期より2円増額し10円とさせていただきます。

今後につきましては、より一層スピードを上げて開発中の各種製品を完成させ、それらを提案することで新規ユーザーの獲得を急ぐとともに、新たな分野や地域に向けても積極的に展開を拡げてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



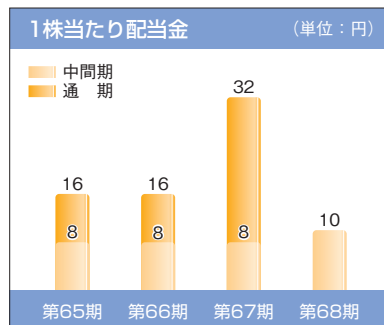
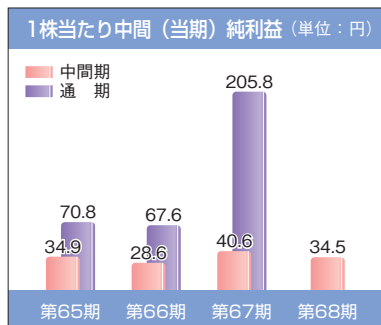
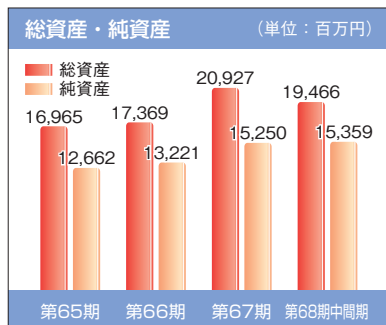
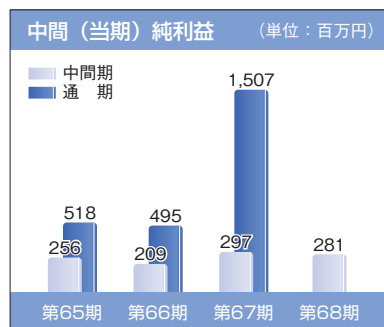
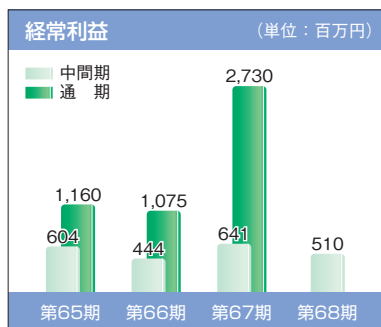
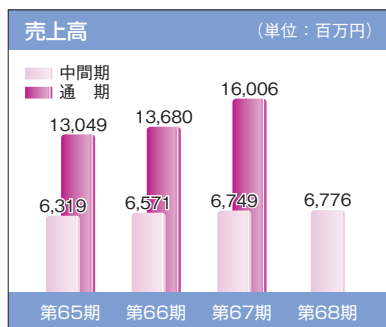
代表取締役社長 粕谷 健次

平成26年7月

当社グループの事業

塗料事業	<p>合成樹脂塗料・シンナー等 … 当社及び耐塗可塗料化工（青島）有限公司で製造し、直接又は特約代理店を通じて販売しております。また、巴興業(株)は一般シンナー類に加え廃溶剤を精製して再生シンナーを製造販売しております。</p> <p>塗料関連製品 …………… 当社で仕入、直接又は特約代理店を通じて販売しております。</p>
ファインケミカル事業	<p>高機能性樹脂・各種機能性微粒子等 … 当社及び耐塗可塗料化工（青島）有限公司で製造し、直接又は特約代理店を通じて販売しております。</p>
産業廃棄物収集運搬・処理事業	<p>産業廃棄物 …………… 巴興業(株)が産業廃棄物の収集運搬及び処分をしております。</p>

財務ハイライト



営業の概況

当中間事業年度の事業の状況

当中間連結会計期間における世界経済は、米国経済は底堅く推移し、欧州経済では持ち直しの兆しが見られましたが、中国を始めとする新興国の経済成長の鈍化傾向が改善されず、依然として不透明感がありました。

わが国経済においては、政府の経済政策や日本銀行の金融政策による円高の是正や株価の上昇を背景に、企業収益の改善や個人消費の持ち直しなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような経済状況のもとで、当社グループは市場ニーズを先取りした独自性のある高機能性製品や環境対応型製品の開発に注力し、新規顧客の獲得に向けた営業活動を積極的に展開いたしました。その結果、当中間連結会計期間の売上高は6,776百万円（前年同期比0.4%増）となりました。

一方、利益面におきましては、円安等の影響により国内の原油・ナフサ市況が高止まりし、原材料価格が上昇したことや耐塗可精細化工（青島）有限公司の操業準備費用が増加したことにより、営業利益470百万円（前年同期比15.5%減）、経常利益510百万円（前年同期比20.4%減）、中間純利益281百万円（前年同期比5.4%減）となりました。

セグメント業績は、次のとおりであります。

①塗料事業

金属用塗料分野では、環境対応型塗料の拡販に向けた積極的な営業活動の展開や鋼製家具、工作機械など各業界ユーザーの消費税増税前の駆け込み需要で好調であったことにより、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。内装建材用塗料分野では、無塗装のフローリング製

品の増加による需要減が継続しており、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。外装建材用塗料分野では、消費税増税前の住宅着工件数の増加により需要が堅調であったことで、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。その他の分野では、シンナーにおいて新規顧客の獲得により需要が伸びたものの、樹脂素材分野においてはスマートフォン向けに採用された製品の生産調整が続いており、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。

その結果、塗料事業における当中間連結会計期間の売上高は6,148百万円（前年同期比2.6%増）、セグメント利益は645百万円（前年同期比8.1%減）となりました。

②ファインケミカル事業

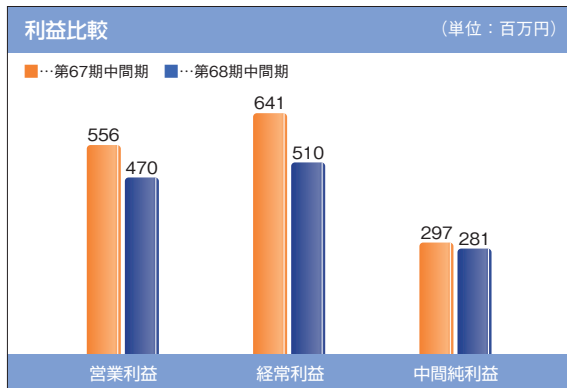
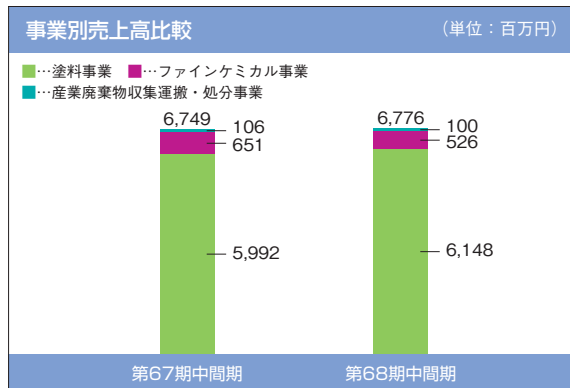
化成品における電子材料向けのコーティング材の需要が低調であったことで、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。

その結果、ファインケミカル事業における当中間連結会計期間の売上高は526百万円（前年同期比19.1%減）、セグメント利益は65百万円（前年同期比39.2%減）となりました。

③産業廃棄物収集運搬・処分事業

産業廃棄物収集運搬・処分におきましては、廃液の有価物化が進行したことにより、廃棄物の取扱量が減少し、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。

その結果、産業廃棄物収集運搬・処分事業における当中間連結会計期間の売上高は100百万円（前年同期比5.5%減）、セグメント利益は21百万円（前年同期比10.5%増）となりました。



第68期中間期の開発動向

当社グループは、地球・人にやさしい環境対応型製品の開発、業界でのシェア向上に向けた差別化商品の開発、更に電子材料関連分野等で要求される高度な機能を備えた高分子材料技術・製品の開発に取り組んでおります。

①塗料事業

金属用塗料分野では粉体塗料の低温化、高平滑化の研究開発を進めるとともに、高耐候性粉体塗料の開発を行いました。溶剤系塗料では新たな新規架橋システム製品の上市に向け取り組んでおります。

内装建材用塗料分野では、木質感及び好触感を表現できる意匠提案を行うとともに機能面では高齢者向け、ペット共生向け建材用塗料の開発を行いました。

外装建材用塗料分野では、市場のニーズに沿った高耐久性低汚染塗料の開発や新規意匠仕様の提案、及び塗装作業性をより向上した塗料仕様の最適化に取り組みました。

樹脂素材分野では、従来品の機能を更にレベルアップし、コスト競争力のある製品開発を行うとともに、ユーザーの求

める触感、意匠の実現に注力しております。

②ファインケミカル事業

微粒子分野においては、合成技術や表面処理技術を活かし、ユースペックを満足する製品開発に取り組みました。化成品分野では、従来機能材料の更なる高性能化と新規機能材料の開発に取り組みました。

③産業廃棄物収集運搬・処分事業

研究開発活動は行っておりません。

④基礎研究

基礎研究は樹脂開発、分散技術、塗装技術、色彩技術で構成されております。

樹脂開発では塗料用樹脂の開発、機能性ポリマーの開発を、分散技術では高分子ナノ粒子の塗料への応用を、塗装技術では各用途に応じた塗装の最適化を、色彩技術では塗装方法・プロセスを含めた新規デザインの提案を行いました。

中長期的な会社の経営戦略

当社グループは基本方針に沿い、企業活動を展開してまいりますが、次の経営戦略に取り組むことにより経営基盤の安定と市場の拡大に努めております。

- ①顧客ニーズの変化に敏感に対応できる営業力を強化し、顧客別戦略による提案型営業を強力に推進してまいります。
- ②研究開発部門を強化し、顧客ニーズを先取りした新技術・新製品の開発に取り組んでまいります。
- ③在外子会社の販売、製造、技術の充実を図り、中国市場の拡大を推進してまいります。
- ④為替リスクを回避し、海外市場の拡大を図るために、製品の海外生産移管を推進してまいります。
- ⑤生産体制の整備、工場の生産効率の向上や原材料の統廃合による原価低減の推進により、品質の向上及び徹底したコスト削減に取り組んでまいります。
- ⑥情報システムを積極的に活用することにより、業務の効率化と顧客サービスの向上に取り組んでまいります。
- ⑦経営の監督・監視機能の強化と透明性の向上を図るため、内部統制システムを整備することによりコンプライアンスの充実を図り、信頼性の向上に努めてまいります。

中間連結財務諸表（要約）

中間連結貸借対照表

（単位：千円）

科 目	当中間連結会計期間末 (平成26年4月30日現在)	前中間連結会計期間末 (平成25年4月30日現在)	科 目	当中間連結会計期間末 (平成26年4月30日現在)	前中間連結会計期間末 (平成25年4月30日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	13,023,621	12,326,081	流動負債	3,537,309	3,625,004
現金及び預金	6,579,353	5,926,177	支払手形及び買掛金	2,546,436	2,524,161
受取手形及び売掛金	4,238,999	4,178,535	未払法人税等	143,102	283,155
有価証券	100,000	100,000	賞与引当金	203,198	200,666
商品及び製品	1,012,155	972,310	役員賞与引当金	17,700	15,750
仕掛品	36,807	37,770	その他	626,871	601,271
原材料及び貯蔵品	411,079	428,665	固定負債	570,452	546,290
繰延税金資産	109,472	137,100	繰延税金負債	65,723	71,519
その他	539,915	551,000	退職給付引当金	86,232	73,212
貸倒引当金	△4,160	△5,480	役員退職慰労引当金	254,129	241,687
固定資産	6,443,313	5,858,362	その他	164,366	159,870
有形固定資産	5,790,489	5,165,196	負債合計	4,107,761	4,171,294
建物及び構築物	2,150,142	1,998,684	(純資産の部)		
機械装置及び運搬具	439,578	563,751	株主資本	14,821,362	12,536,858
土地	1,713,470	1,713,470	資本金	1,626,340	1,626,340
その他	1,487,298	889,290	資本剰余金	3,316,538	2,288,760
無形固定資産	204,762	220,635	利益剰余金	9,881,136	8,624,341
投資その他の資産	448,061	472,530	自己株式	△2,652	△2,582
投資有価証券	342,087	369,954	その他の包括利益累計額	537,810	508,258
繰延税金資産	8,062	10,147	その他有価証券評価差額金	106,310	130,869
その他	102,580	94,502	為替換算調整勘定	431,500	377,389
貸倒引当金	△4,669	△2,073	少数株主持分	—	968,030
資産合計	19,466,935	18,184,443	純資産合計	15,359,173	14,013,148
			負債純資産合計	19,466,935	18,184,443

中間連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当中間連結会計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年4月30日)	前中間連結会計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)
売上高	6,776,186	6,749,690
売上原価	5,120,382	4,951,817
売上総利益	1,655,803	1,797,873
販売費及び一般管理費	1,185,394	1,240,970
営業利益	470,409	556,902
営業外収益	45,307	90,472
営業外費用	5,039	6,111
経常利益	510,676	641,262
特別利益	13,307	186
特別損失	7,905	827
税金等調整前中間純利益	516,078	640,621
法人税、住民税及び事業税	138,982	282,547
法人税等調整額	95,899	△17,119
少数株主損益調整前 中間純利益	281,196	375,193
少数株主利益	—	77,962
中間純利益	281,196	297,230

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当中間連結会計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年4月30日)	前中間連結会計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	582,322	635,248
投資活動による キャッシュ・フロー	△646,385	△1,089,653
財務活動による キャッシュ・フロー	△175,219	△59,205
現金及び現金同等物に係る 換算差額	25,655	199,770
現金及び現金同等物の 増減額	△213,627	△313,840
現金及び現金同等物の 期首残高	5,880,157	5,244,400
現金及び現金同等物の 中間期末残高	5,666,529	4,930,560

株式の状況 (平成26年4月30日現在)

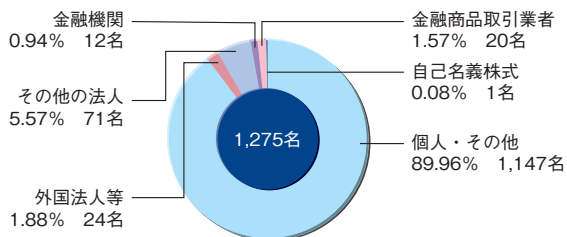
①発行可能株式総数	26,299,000株
②発行済株式の総数	8,144,400株
③株主数	1,275名 (前期末比29名減)

大株主

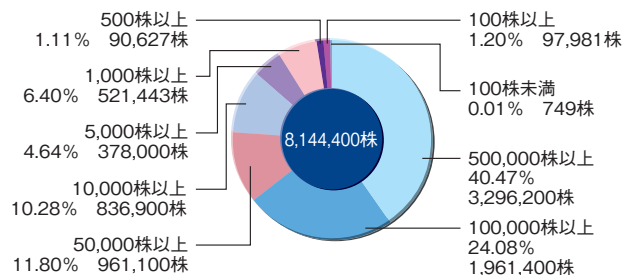
株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
粕谷忠晴	1,383,800	16.99
有限会社巴ホールディングス	1,090,600	13.39
ナトコ共栄会	821,800	10.09
粕谷太一	267,800	3.28
株式会社三菱東京UFJ銀行	240,000	2.94
株式会社三井住友銀行	230,000	2.82
株式会社中京銀行	210,000	2.57
粕谷英史	190,000	2.33
粕谷健次	162,800	1.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	154,000	1.89

※持株比率は自己株式 (920株) を控除して計算しています。

所有者別株主分布状況



所有数別株式分布状況



(単位：円)

	第65期	第66期	第67期	第68期中間期
期末（中間）配当金総額	117,184,288	117,183,248	234,365,464	81,434,800
（普通株式1株につき）	16	16	32	10

配当政策及び配当金

当社は、株主様への利益還元を経営の重要な政策と認識し、安定配当の継続を基本方針として、業績の推移などを勘案して実施することとしております。

当中間期の利益配当金につきましては、業績等も含め総合的に勘案した結果、1株当たり10円とさせていただきます。

また、平成26年度10月期の期末配当につきましては、1株当たり12円を予定しておりますので、年間配当金額合計は1株当たり22円となる見込みであります。

会社概要 (平成26年4月30日現在)

設 立	昭和23年11月1日
資 本 金	16億2,634万円
従 業 員 数	216名 (臨時従業員及びパートタイマーを除く)
主 要 製 品	金属用塗料・内装建材用塗料・外装建材用塗料・ ファインケミカル製品
本 社 所 在 地	〒470-0213 愛知県みよし市打越町生賀山18番地 0561-32-2285

主要な事業所及び工場

本社/本社工場	愛知県みよし市打越町	0561-32-2285
群馬工場	群馬県みどり市笠懸町	0277-77-1703
名古屋工場	名古屋市瑞穂区二野町	052-882-7572
中央研究所	名古屋市瑞穂区二野町	052-882-7572
東 部 支 店	さいたま市南区白幡	048-844-8461
中 部 支 店	愛知県みよし市打越町	0561-32-9653
西 部 支 店	大阪市淀川区三津屋南	06-6308-2824
西南部支店	福岡市博多区博多駅南	092-432-2811
韓 国 支 店	大韓民国京畿道水原市八達区孝原路303 (仁溪洞)	+82-31-232-7583



役員の状況 (平成26年4月30日現在)

代表取締役会長	粕 谷 忠 晴
代表取締役社長	粕 谷 健 次
専 務 取 締 役	川 上 進
取 締 役	山 門 祥 彦
取 締 役	三 宅 敏 勝
取 締 役	山 本 豊
取 締 役	粕 谷 太 一
常 勤 監 査 役	水 野 孝
監 査 役	山 田 靖 典
監 査 役	脇 田 政 美

(注) 監査役山田靖典氏及び監査役脇田政美氏は社外監査役であります。

ホームページのご案内

当社ではホームページにて当社の企業情報を随時開示しています。IR情報のサイトでは決算短信等をご覧いただけます。



<http://www.natoco.co.jp/>

事業年度	11月1日から翌年10月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	10月31日
中間配当金受領株主 確定日	4月30日
定時株主総会	毎年1月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQスタンダード
公告の方法	日本経済新聞に掲載する

【ご注意】

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

